



携帯・スマホから
アクセス!

発行/山形県大石田町議会

発行責任者/議長 芳賀 清

編集/広報常任委員会・〒994-112 大石田町緑町一番地

☎0237352111

◆印刷 (株)印刷文化堂



大石田分署に新しく配備された
「災害対応特殊水槽付ポンプ自動車」

大石田町の生命と財産を守ります！(尾花沢市消防署大石田分署)

◆第4回定例会

(12月10日～15日)

◇第6回臨時会

(10月30日)

◇第7回臨時会

(11月30日)

いつまで続く！2年ぶりの大雪 2

議案の審議 まちづくりに女性の参画！ 4

町の考えを問う 5議員が一般質問 8

大石田小6年生が議会を傍聴 14

地域振興公社応援企画/経営コンサルタントに聞く 16

地域振興公社応援企画

落合経営コンサルタントに聞く

あったまりランド深堀



◆経営コンサルタント(左)
落合春信さん(山形市在住)
◆所属/クオリティ マーケティング&マーチャライジング
合同会社QMM地域開発
研究所



※花田社長(副町長)と落合さん、常務、支配人、料理長を中心に毎週会議を開き運営の確認や今後の企画を話し合っています。また、料理の新メニュー開発や試食会も行っています。

大石田町の印象は

山形県の中でも特に文化度が高く、町民が温かいです。その温かさが斎藤茂吉や金山平三などの文化人が大石田町に長く滞在していた要因だと思います。

あったまりランド深堀の第一印象は

町民に支えられている施設という印象です。

問題点と改善点は

接客、料理、環境整備などあらゆる面で質の向上を図っていきます。

今後の企画など

ポストコロナの時代にあった運営や企画を考え進めていきます。

大石田町議会に一言

とにかく利用していただき、ご意見ご指導をいただきたいです。

議員よりコメント

今回の取材で毎週行われている会議に参加させていただきました。新型コロナウイルス対策や新企画、新メニューの提案と試食、経営陣みんなで情報を共有し、新たな取り組みをする姿が見られました。落合さんにコンサルタントとして頂き、まもなく一年になります。私自身は宴会で利用することが多いのですが、料理が美味しくなると感じています。見栄えも季節感が出ていて素晴らしいと思います。これまでも一番力を入れたのが料理だと思います。今後とも「赤字体質からの脱却を自ら考える組織」になり、町民に愛される施設になってほしいと思います。
【記 今野】



美味しい料理とおもてなしで町民のみなさまをお待ちしています！

表紙の写真

大石田分署に新たに配置された「災害対応特殊水槽付ポンプ自動車」です。ポンプ車の積載量は2,000ℓ。車両上部には放水銃が設置されており、火点との距離や高さがある場合でも有効な放水ができます。また、この日当番だった隊員の方々の姿も凛々しく、より安心な町への一助となってくださることを思います。
【記 二藤部】

議会を傍聴しませんか

◆次回の定例会は◆

3月2日(火)～
3月12日(金)の予定です。

マスク着用のうえ、おいでください。

お問い合わせ先 大石田町議会事務局
電話：35-2111(内線312) FAX：35-2118

編集後記

感染症の収まる兆しはなく、年末年始の大雪に私たちは大苦戦。新年を迎え気持ちを引締め町の問題を見極めねばならない。昨年は汚職事件、コロナ、洪水とトラブル続きであった。しかし洪水被害はほぼ復旧し、事件に関する違約金の問題も裁判所で調停中。全国初の女性同士の知事選挙、衆議院議員選挙は私たちに与って大きな意思表示の機会である。ゆっくり、しかし確実に前進し問題を解決していく必要がある。この大雪は昨年の倍返しどころではない。為す術なく困り果てている人たちも見かける。まずは、あと2か月一つづつ困難を乗り越えて暮らしていこう。
【記 小玉】

◆広報常任委員会
委員長 岡崎 英和
副委員長 小玉 勇
委員 二藤部冬馬
委員 今野 雅信
委員 大山 二郎

いつまで続く！ 例年にない1月中の大雪

2年ぶりに203cm

(1月11日現在)



きれいな幅出しは任せる！ロータリ除雪車



消雪道路でも追いつかない雪(東町)



雪に埋もれる大石田駅



どこまで続く雪の道！

丹生川沿いの雪捨て場は全長1キロほどに伸びている

今シーズンも大石田らしい冬將軍がやってきた。それにしても、初雪の翌日に「大雪警報」発令、5日後に豪雪対策本部設置は、過去に例のない異常なペースのスタートだ。除雪に携わる職種の方々のみならず、全ての町民が疲れ気味なのは気のせいではないはず。

除雪と言えば、東根市や天童市、山形市から来町した方は、いつも道路除雪のキレイさに驚かされている。当町や尾花沢市などは、行政側が除雪用重機を準備し契約先の業者に貸与するやり方だが、村山市以南は除雪を請け負う業者自身で重機を用意する方法なのだ。当然、降雪量や出勤回数など、比較にならないために致し方ないことだが、ひいき目に見ても当町における道路除雪のクオリティは抜群の高水準に思える。

真夜中から出勤し、降雪量次第では休む間もなく夕方まで稼働することも頻繁だ。自然が相手なので仕方がないことだが、過酷な業務実態ゆえに後継者不足も深刻な課題なのだ。

そのような除雪に携わる方々に感謝しつつ、去年の話ではないが、大雪に見舞われた分、春以降は平穏な一年になってもらいたいものだ。

【記 岡崎】

補正予算・条例等

まちづくりに女性の参画！ 大好評！



ふるさと納税
岡崎 英和 議員
過去最高の納税額になるようだが、これを単年度で終わらせない策はあるのか。
町長 返礼品のおせちは順調だが、大石田の米を認めてもらえるよう力を入れていきたい。

村形 昌一 議員

返礼品の4分の3がおせちと聞く。ならば業者に對してもう少し町へ還元してもらおう策が必要では。
町長 花火等、単独でも寄附をいただいている。

町内の女性限定プラン

次のキャンペーンは何かによ～★



町内宿泊施設宿泊料
3,000円値引
(1月末終了)

一般会計
〔全員賛成〕
あつたましランド虹の館
二藤部 冬馬 議員
町内女性に限る宿泊助成を行ったが、もつとキャンペーンの対象を広げる考えは。
町長 可能であればやっていきたい。
副町長 町をもっと良くしていくには、女性の参画が必要。細やかな視点を生かしていくために女性限定にした。

第4回定例会が、12月10日から12月15日まで、6日間の会期で開催され、5人の議員が一般質問を行いました。各会計補正予算、条例の制定、人事案件などを原案どおり可決しました。
請願(陳情)は、各常任委員会に付託され審査が行われ、議員発議として意見書の提出や決議を議決しました。

- 各会計補正予算 6件
- 条例設定 1件
- 条例制定 1件
- 協議 1件
- 人事案件 1件
- 議員発議 2件
- 以上12件 原案どおり可決

防災放送

大山 二郎 議員
SNSを利用した取り組みや、高齢者宅だけでも直接つながるシステムを考えては。
町長 放送の内容を確認できる、防災情報テレホンサービスというシステムと、SNSを使ったサービスを考えている。高齢者については自主防災組織や民生委員児童委員の力を借りて進めていく。

遠藤 宏司 議員

情報収集困難者への対応として、名簿を作り区長等に提供しては。
副町長 解決に向けて対策を考えている。まずは本人の同意を基にリスト化し、行動計画を作る予定。

定住促進事業

村形 昌一 議員
定住促進に補正増額するのは大変良いこと。町長の今後の見解は。
町長 好評だったということで、今後も財政が許す範囲で力を入れ、まちづくり人口の増加に繋げたい。

**緊急災害対策
利子補給金**

村形 昌一 議員
助かっている中小企業は多い、町長の判断は。
町長 経済の疲弊が続いている。国に対し施策の継続をお願いしている。

取水ポンプ

遠藤 宏司 議員
金川にある流雪溝用ポンプを豪雨時の排水に使用するというのだが、多用途に使うって大丈夫か。
町長 国交省とも協議をしている。



最上川増水時は内水が溢れる金川 (横山下宿地内)

インフルエンザ



今野 雅信 議員
町の医療機関ではワクチンがなくなったと聞く、中学3年生が受けられない。ワクチンの確保と情報発信を。
町長 ワクチンは行政がお願いしたから来るものではない。北村山地区で融通できるかお願いする。

**連携中核都市圏
協約締結(賛成多数)**

遠藤 宏司 議員
全て山形市に集中して、周辺が寂れるのではないかと、メリットはあるのか。
町長 中心部だけが栄えるという話ではない。恩恵があるのみ。
まちづくり推進課長 現在33の事業があるが、町民のメリットになる事業を取捨選択し、取り組んでいく。

学校給食特別会計

岡崎 英和 議員
8市町による米飯施設の共同化ということだが、給食センターの共同化の話はあるのか。
教育長 給食数は減っていくが、給食センターは現状のままと考えている。

山交バス負担金

村形 昌一 議員
公立病院線運行に対し、損失補填までする必要はあるのか。
町長 公共交通機関への助成ということで、いたしかたない。



なくなっては困ります (町内停留所)

職員採用試験

小玉 勇 議員
今年の受験者が34人に増えたのはなぜか。
総務課長 通常9月に共通試験を行っていたが、今年は町独自で11月にし、他と重複して受験できるようにしたからと思う。

国民健康保険特別会計

大山 二郎 議員
町内にPCR検査を行える医療機関はあるのか。また検査や入院時の費用は。
保健福祉課長 検査を行える医療機関はある。費用は個人的に受けた場合は自己負担、保健所や医師の指示があれば、検査も入院も無料である。

**固定資産評価
審査委員の選
任に同意**

海藤雅彦さん(駒籠)を固定資産評価審査委員として任命することに全員が同意しました。
任期は令和3年1月20日から3年間です。

遠藤 宏司 議員
保険料の子どもの均等割はやめるべき。
町長 法令上できない。

陳情

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書の提出についての陳情

- ◆陳情者 山形県医療労働組合連合会
執行委員長 渡辺 勇 仁
- ◆陳情要旨 感染症病床や集中治療室の大幅な不足、公立公的病院の重要性、医師・看護師・介護職員の人員不足、保健所の不足が問題となっています。国民のいのちと健康を守るため、医療・介護・福祉、公衆衛生施策の拡充を強く国に求める意見書を提出するよう陳情します。

厚生産建常任
委員会審査結果



提出先
内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
厚生労働大臣

陳情を採択したので国に対し意見書を提出しました
安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書

決議

全員賛成

誹謗中傷をなくし共に支え合うことにより新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議



◆決議要旨◆

感染者やその家族等に対しSNS等の媒体による匿名での心ない誹謗中傷や、間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから感染者や感染経路を詮索するようなことは行わず、大石田町民の「思いやり」や「やさしさ」で防がなければなりません。私たちが行うべきことは感染予防策の徹底であり、感染者を誹謗中傷することではありません。今こそ一人ひとりが共に支え合うことが何よりも大切です。誹謗中傷の根絶を目指し、新型コロナウイルス感染症の諸問題に真摯に取り組み、この困難を乗り越えましょう。

第6回 臨時会 10/30
違約金を請求するため調停を申し立てる

議案第55号
令和2年度大石田町一般会計補正予算(第8回)
議案第56号 調停の申立について
・大石田町町民交流センター建築(主体)工事に係る違約金(4億818万9024円)と尾花沢市消防署大石田分署建築工事に係る違約金(5734万4980円)を支払うように町は山形簡易裁判所に調停を申し立てました。その経費(弁護士費用等)として、調停等業務委託料(2860万2千円)の補正を可決しました。

第7回 臨時会 11/30
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

議案第57号
大石田町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
・大石田町一般職の職員の期末手当の支給率を改正し、支給率を下げる条例の改正を可決しました。

請願

国に対し「消費税5%以下への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願について

総務文教常任
委員会審査結果



- ◆請願者 北村山民主商工会 会長 黒 沼 生 一
- ◆紹介議員 遠 藤 宏 司
- ◆請願要旨 消費税増税以降、日本経済は低迷しています。さらに新型コロナウイルス感染症拡大が追い打ちをかけ、多くの国民に影響が出ています。緊急経済対策として、景気低迷の原因になった消費税の税率引き下げが大きな効果を発揮すると思います。住民の暮らし、地域経済、地方自治に深刻な打撃を与える消費税の5%以下への引き下げを強く求めます。

総務文教常任委員会委員長報告(不採択)に対し

討 論

賛成

岡崎英和 議員

国民救済という観点から考えれば、減税という可能性もある。コロナ感染症が広がり始めた当初、減税という声をあげた時期もあった。
しかし、現在は税を成す根幹の部分はそのまま、それを踏まえて多種多様な支援に力を注いできている。期限付き減税をした国も多数あるが、国の考え方もそれぞれ違う。税金の根幹はそのまま、日本は支援という形で手を差しのべるべきと考える。

議会での討論とは？

議案の採決の前に、反対、賛成の意見をその理由を明確にして表明することで、態度を決めかねている人を自分の意見に同調させるため行うことです。

反対

遠藤宏司 議員

コロナウイルス感染症の拡大のため、日本だけでなく世界規模で異常事態。数多くの死者が出ている。政府は財政出動的な形で営業や個人生活への支援を行っている。
税金というのは本来累進課税。所得の多い人から多くとり、公平に国民に分配する仕組みのはず。しかし消費税は所得に関係なく、子どもにまで課税する制度。異常な事態に税金の取り方も変えなければならぬ。
世界各国でも消費税に似た税金が引き下げられたり、一時ストップしている。この際、いったん5%に戻すべきと考える。

総務文教常任委員会委員長報告(不採択)に対し

賛成多数で可決されました

賛成議員 6名
反対議員 3名(遠藤議員/大山議員/小玉議員)





河川改修の現状と課題

遠藤 宏司 議員

緊急的な応急対応は
完了している

町 長

7月豪雨後の現状
豊田地区の河川改修の進捗状況は、今年の7月豪雨の水位でも地区の水没や断水が起きないようにしたのか。
町長 緊急的な対応策として大型土嚢の設置を11月5日に完了した。今回の水位でも溢水しない対応と聞いている。
五十沢川のバックウォーリー
ター氾濫による今宿地区の水没を防ぐ対策は。



被害が大きかった豊田地区

町長 管理者は県であり堤防のかさ上げによる氾濫防止対策を要望している。県は現地調査をしているので、年度内には方向性を示してもらおう。
金川や下の川、川端地区の内水氾濫による水没を防ぐ対策は。
町長 横山下宿地区は、流雪溝ポンプを利用することで迅速な排水ができるよう補正予算を計上している。川端地区は、国土交通省との協議、調整が必要なので今後も粘り強く取り組んでいく。



7月豪雨時の支障木の様子(横山下河原)

今後の課題
豊田地区の大型土嚢設置で、水道の断水被害を回避できるようにした。うだが、このことを広く町民に知らせるべきでは。町長 豊田地区をはじめ、周知していく。
大規模な洪水が今後も頻りに起こると考えれば、大型土嚢の設置は対症療法的なもの。抜本的な対策が必要になってくると思うが、国交省と話し合いをしたのか。

町長 水害は今後も起こりうるものと考えられる。豊田地区の築堤や、流下断面を確保する河道掘削、支障木の伐採などしっかりと要望していく。
支障木の伐採は来年3月まで完了すると聞く。今後は川底の土砂の浚渫を要望する考えは。
町長 下河原周辺の浚渫はやるか聞いている。駒籠、大浦あたりも予定しているか聞いている。

町の考えを問う

5 議員が一般質問

遠藤 宏司 議員

◆河川改修の現状と今後の課題について

9ページ

二藤部 冬馬 議員

◆若手の定住移住を促していく必要があるが、今後の具体策は

10ページ

小玉 勇 議員

◆7月豪雨の復旧は完了したのか
◆危険家屋の今後について
◆入札制度をどう改革したのか

11ページ

村形 昌一 議員

◆古関裕而や森義八郎に光をあてる時ではないか
◆時代に合った交通安全対策を

12ページ

大山 二郎 議員

◆入札制度改革及び談合事件について
◆町長の初心を問う

13ページ



議場にもアクリル板を設置しました

一般質問とは…

大石田町の様々な課題等について、議員が町に考えを聞くことを言います。

質問内容は議案とは関係なく議員が自由に決めます。議席は対面式になっており、町長と向かい合い質問します。議員1人当たりの持ち時間は1時間です。



危険空き家の撤去は どうなった

小玉 勇 議員

12月7日業者が決まり 着工している

町 長

空き家の撤去始まる

3月に予算化した危険空き家の撤去費用561万円はとうなつた。(うち224万円は国の補助)
町長 所有者との交渉と手続きに時間を要したが、ようやく登記の変更も完了し、12月7日入札を執行、解体工事の請負業者が決定した。工期は2月26日まで。
地区の要望から10年以上を経て、ようやく撤去されるが、更地になった土地はどうするのか。



ようやく解体開始(来迎寺地区)
【1/5山形新聞に関連記事掲載】

町長 地区の意見を聴きながら、具体的に協議を進め、検討していきたい。個人の後始末に公費を充てることは、いろいろ異議もあると思うが、今後の撤去計画はあるのか。
町長 近隣への危険性や衛生面を考え、あと2件の予定があり、今後事業を進めていく。

豪雨災害

7月豪雨被害の復旧は進んだのか。
町長 今宿「町道鷺ノ原



まだ通れません
(県道大石田畑線・ワラ口入り口)

※「入札制度をどう改革したのか」の質問項目については、大山議員の一般質問(13頁)に掲載のため割愛します。



若者の移住定住、 今後の具体策は

二藤部 冬馬 議員

子育て世代向けの住宅建築を検討

町 長

若者への支援

町外流出、出生数の減少が進む中、若者や子育て世代の定住や移住を促すための、さらなる対策が必要。今後の具体策は。
町長 「人口ビジョン」「地方創生総合戦略」の改定に着手している。結婚された夫婦に対して住居費を補助する「結婚新生活支援事業」の創設など、新しい施策も盛り込み、今年度中に策定していく。
町長 「空き家バンクの活用」「住宅取得等への支援制度」に取り組んできた。転出超過については若干の改善が見られる。空き家の売却・購入はなかなか進まず、移住定住策の一手として考えるのは厳しいのでは。
町長 経費をかけずに移住してもらおうには、空き家を活用してもらうことが一番いいと考える。コミュニティなど様々な部分で評価してもらえれば、策はできると考える。

これまでの取組は。町長 「空き家バンクの活用」「住宅取得等への支援制度」に取り組んできた。転出超過については若干の改善が見られる。空き家の売却・購入はなかなか進まず、移住定住策の一手として考えるのは厳しいのでは。

住宅の現状と具体策

結婚を機に住宅を考える世帯や大石田に移住したい世帯もあるが、アパートの情報ほとんど見つからず、他市町村に流れてしまいうケースがある。まちづくり推進課長 民間のアパートに関しては、営業活動にあたるので、行政として介入するのは難しいと考える。舟形町・大蔵村等で行っている子育て支援住宅などの建築は。



大石田町にもほしい！子育て支援住宅(舟形町)

町長 町で保有している土地を活用し、子育て世代向け住宅建築を検討している。若者向けの間取り、除雪の解消、家賃設定など、先進地の事例を参考にしながら実現に向けて取り組んでいく。
昨今の出生数の減少を見ると、5年後や10年後に先延ばしできない問題。支援住宅の建築はいつごろ実施予定か。
町長 任期中には形にしたい。



新入札制度の方法は

大山 二郎 議員

入札は総合評価落札方式

町長

総合評価落札方式
 入札制度改革で総合評価落札方式としたのはなぜか。この制度は、点数によって落札額の高い業者が落札することもある。これは、入札制度を不正が起きにくい入札制度を目指して検討を進めた結果、総合評価落札方式による条件付き一般競争入札を導入することにした。加えて工事実績の有無や経営状況等に一定の条件を課し、品質確保の観点から決めた新入札制度と地元企業への影響と対応は、町長 基本的には町外の業者も入札に参加できることになるが、活性化の

得点は、評価項目ごとにあらかじめ定めた計算法により技術提案の内容を得点換算します。

評価値が最も高い企業
 落札者

$$\text{得点} = \text{評価値} \times \text{価格}$$

価格は、工事価格

「決め手は評価値」

ため、業者育成という面からも町内業者が受注することは重要。町発注の受注や地域貢献の実績、事業所の所在地要件を付すなど、何とか町内業者からがんばってもらえるよう模索している。施行まで町内業者に説明する。

違約金と損害賠償

町長 請求先から弁護士を通じ支払いには応じられないとの回答があり、

子どもの数		
令和2年度生まれ	0歳	18名(見込)
令和元年度生まれ	1歳	24名
平成30年度生まれ	2歳	32名
平成29年度生まれ	3歳	27名
平成28年度生まれ	4歳	49名
平成27年度生まれ	5歳	33名
平成26年度生まれ	6歳	41名
平成25年度生まれ	7歳	42名

人口減少対策は。
 町長 移住定住の環境整備、若い世代の町内居住への支援を掲げ取り組んできた。具体的には空き家バンク制度、住宅取得支援など。今年度からは、子育て支援として18歳まで医療費無料化を行っている。今後は、現在見直し中の「地方創生総合戦略」に盛り込んでいく。
7年後の小学生は180人程度になるが、小学校の統合計画の進捗は。
 町長 昨シーズンは少雪のため、実証が得られなかったが、今シーズンも駒籠、鷹巣地区をモデル地区に選定し、実践した結果を踏まえ問題点や課題の検討を行い推進していく。

町長の初心を問う

町長 当面は3校存続で状況や推移を見ていきたい。統合は将来避けては通れない問題なので、教育長、教育委員会とも相談し、総合教育会議の中で検討していく。
 教育長 令和10年頃を見据え、ハード面だけでなく、ソフト面も含めて考えていく。
一人暮らしの高齢者宅は200軒を超えている。間口除雪は高齢者の生活と命を守る問題。予算の問題以前に、住みよい町づくりのため、ぜひ実現すべき。
 町長 昨シーズンは少雪のため、実証が得られなかったが、今シーズンも駒籠、鷹巣地区をモデル地区に選定し、実践した結果を踏まえ問題点や課題の検討を行い推進していく。



古関裕而氏の特設コーナー (図書館/12月末で終了)

作曲家「古関裕而氏」
 朝ドラ「エール」人気に合わせ町民歌に愛着を持ってもらう時ではないか。教育長 作詞が斎藤茂吉で文化的にもクオリティが高い。町の誇るべき財産として再認識する絶好の機会だと捉えている。施策をどう進めてきたか。教育長 大々的なイベントには至らないが、町民歌制定の経緯をまとめ、図書館に古関裕而氏の特設コーナーを設け、町民大学では朝ドラの母親役の菊池桃子さんの講演会を開催した。また、大中の1年生が総合学習で調べ、発表もしたようだ。

作曲家「森義八郎氏」

町長 「忘れろイカ」紀元二六〇〇年」54000曲を作曲した。他の作品は。教育長 母校である田沢小の他に横山小、旧大石田小や戸沢小中の校歌を作曲している。作品曲を町民が歌えるようにできないか。



偉大な作曲家に光をあてる時ではないか

村形 昌一 議員

いろいろな形で光をあてていきたい
 教育長

時代にあった交通安全を

海谷地区の信号機設置の請願はどうなったのか。町長 一定の条件があり進まないが、議会と力を合わせて要望していく。信号機の設置や通行量が減って撤去する信号機の基準は。町長 時間は道路管理者と警察で設定している。教育長 学校は8時5分まで登校することになっているが、遅れてきた児童へも配慮して8時半という時間になっている。



請願があった交差点 (海谷地区)

まちづくり推進課長 「信号機設置の指針」に基づき、県の公安委員会と決めている。令和の時代にあった信号機の配置が必要では。町長 地区民や関係者もいるので陳情や要望があれば考えていきたい。スクールゾーンの時間を8時半までから8時半までに変更できないか。

大石田小学校6年生が議会を傍聴

12月定例会5日目(12/14)に、大石田小学校6年生22人が議会を傍聴しました。少し緊張した面持ちでしたが、熱心に議論に耳を傾けていました。紙面の都合上、要約した感想を全員分ご紹介いたします。

遠藤宏司議員の一般質問を聞きました
◆河川改修の現状と今後の課題について
9ページ参照



真剣な表情で

河川改修の現状と今後の課題について皆さんの質問をしていただきありがとうございました。ほくたちも委員会活動をしています。町長さんや議員さんのようにすばやく受け答えするのは、できないと思います。質問する人も60分間質問できることを知り疲れないのかと思います。

延藤 孟生

国会のようなイメージをしていたので、とても静かだと思いました。時間ぴったりに始めるのも驚きました。町長さんは質問の答えを丁寧に答えていて、長い質問にも集中して聞いていて、あこがれの気持ちを持ちます。質問する人も町の人のためにすごいと思いました。

西尾 大路

議会を見て話しをまとめるのはとてもいいことだと思います。静かな雰囲気です。緊張しました。話し合いの内容は小学生でもわかりやすいように話してくださったのでうれしかったです。授業の中で議会を見るといいのはすごい経験だと思います。

桐井 愛士

話の内容が難しく理解できないところがたくさんあり、頭が混乱しそうになりました。初めて議会を見たから追いついていけないだけだと思います。また次の機会があれば、話についていけるよう内容を考えながら話を聞きたいです。

近江 祐音

議会を傍聴して、議題は7月に起こった豪雨の対策などについて意見が具体的でした。対策として最上川の川岸にある木を伐採するそうです。木があると水の流れる速度が遅くなり水があふれてしまうという事もわかりました。内容は難しかったけれど、説明がわかりやすく理解できることも多かったです。

常盤 周

初めて議会を見て思ったことは、大人の話し合いに対する真剣さです。町のことや町民のことを時間をかけて話しあっていました。初めは「一人の質問時間60分もある」と驚きました。見させてもらったおかげで大石田町民は安全にいられると思います。

稲垣 悠真

町民の要望に応えるために、長い時間話し合っているという事に町民に対する気持ちが伝わってきました。町づくりに対してもっと良くしていこうという気持ちを実感することができました。町と県や国とが協力していることに驚きました。これからは町のことを考えて生活していきたいです。

村岡 大

自分たちの話し合いに比べて議長にかけられたらすぐに発言し、その意見の内容もいろいろな場所で洪水対策が施され、その場所でのようなことが起こったかもわかって非常に勉強になりました。

斎藤 由琥

議会を見てとても緊張しました。ほくたち大石田町民のためにとてがんばっていることを知りました。7月豪雨など色々なことについて話し合われていることがとてもすごいことだと思います。少し難しかったですが、これからはがんばってください。

青柳 爽介

議会を聞いて感じたことは、話を進めるのが上手です。スムーズだということです。学校の委員会では考えたりする時間をとるのですが、議会では質問されたらすぐ答えていました。おどろいことが、質問する時間が60分もあるということです。今日の話聞き、ほくも誰かのためにがんばれるようになりました。

早坂 湊友



感染症対策を万全にして来てくれました

7月の最上川のはんらんによる対策を議会でたくさん話し合われていたことにおどろきました。議会の話によって大石田町が守られていることも改めて感じました。これからも議会を通して大石田町を守ってほしいと思いました。

落合 彩紅

最上川の近くにある大石田町は絶対に安全だといえる場所が少なく限られているので、事前に避難場所を確認することが大事なのだと思いました。町民全員が安心して暮らしていくために町、県、国の対策を伝えることも大切だと思います。それぞれの市町村との協力が大事だと思います。

榎本 陽咲

一つの質問でもどんな深くまで考えていって、ふだんは考えないようなことが次々に話し合われていたのです。すごいと思いました。質問に答える人もすぐ対応していたので頭を回転させて考えているのだと思いました。毎日安全に暮らせるように考えてくださり幸せです。

村上 美月

話し合いが少し言い争いに見えました。でもみんなの代表でいるからこそだと思います。環境破壊にもなるけど木を切つて水の流れを速くするという事は、私も納得できました。前もって対処方法を考えていることもありがたいと思いました。自然災害はいつくるか分からないので少しでも安心して暮らせる町にしてほしいです。

石山 夢望

一番すごいと思ったのは、止まることなく質問や意見を言っていた事です。一人一時間、それを毎回人も話し合っていることを知り、だから私たちが安心して暮らせるのだと実感しました。難しい課題にそって、効率的な意見を出し、質問をしながら考えていく話し合いの仕方とても勉強になりました。

大山 詩心

議題が7月豪雨のことだったので分かるところが少しありました。災害が起きると修理や対策など色々なことに気を配らないといけないのだと改めて思いました。これから大石田町をもっとよくしていくために議論していいと思います。

東海林 あや

私たちがいつもやっている話し合いとはやり方がちがうところがたくさんありました。町議会では意見の出し合いではなく質問する人と町長さんだけでいたり、一人の質問時間が決まっていたり、おどろくことがたくさんありました。話し合われている内容は難しかったけれど、とても勉強になりました。

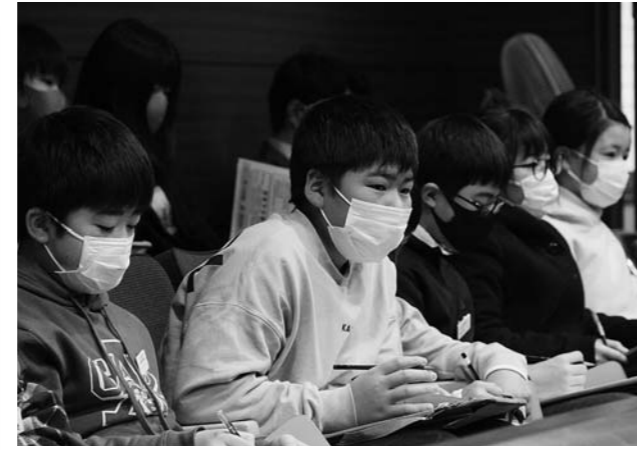
鈴木 心結

私は避難の仕方について共感しました。災害が起きて自分自身で自分で守ることが大切だと思いました。ハザードマップを見て避難場所を確認して、どこを通っていけば安全に移動できるかを親と話し合いたいです。同じことが起きて冷静に対応していきたいと思いました。

森 優希愛

長い時間をかけて話し合っていて、質問する人に分かれて意見を言っていたので分かりやすかったです。質問の内容で豪雨の対策をみんな質問合っていて豪雨や水没が起きないようにこんな努力をしていかなって知りませんでした。

寺崎 ひなた



その目に大石田町の将来を任せたい!



難しい話題でも真剣に聞いています

様々な問題があり、それを解決するためにどんなことを行おうのかなどをしっかりと伝えなければならぬので大変だと思いました。質問に対しての答え、考えを重なる議論をしていくことは初めて知ることができました。とてもはくりよくがあつておどろきました。

高橋 のぞみ

今年の豪雨のことは、私はもう終わったと思っていました。しかし大石田町では終わっていませんでした。今どのような状況なのかを知ることができました。少し難しいところもあったけど、勉強になったので見学することができて本当に良かったです。

田中 心菜

議会に対するイメージは机をたたいたり争ったりすることだと思っていました。しかし実際には議長が発言を取りしきり意外だと思いました。町長さんが「情報を知らせる安心して暮らせるようにしていきます」という発言をしていくことに感心しました。

高橋 梨央

議員から「コメント」
7月豪雨災害に関する一般質問で、少々難しい質疑に戸惑いながらも、真剣に聞き入り一生懸命にメモを取っていました。
議会そのものに関心を持ったという感想もあり、ぜひその意欲を継続してもらいたいと願うところでです。

【記 岡崎】